令和８年６月１６日

第７８回北海道高等学校バドミントン選手権大会における熱中症防止対策について

北海道高等学校体育連盟バドミントン専門部

本大会つきましては、（公財）日本バドミントン協会が示す公認審判員規程等に基づき、選手及び大会役員、大会競技役員を含めた大会関係者の健康と安全を優先した運営に努めます。

近年、北海道においても夏季における高温傾向は続いており、特に本大会の会場は、空調が整備されていないため、高温多湿となることが予想されることから、次の暑熱対策を講じて運営します。

(1) 試合の進行について

①レフェリーが会場の環境温度や暑さ指数（WBGT）をモニタリングし、必要に応じて競技を中断し、換気及び継続に係る判断を行います。

②競技の中断等により進行が大幅に遅れ、会場の閉館時刻に係るような場合は、選手及び引率者に確認の上、タイムテーブルの修正や翌日に繰り越す等の対応を検討します。

③競技の進行を円滑にする為、敗者校の監督（顧問）は、観覧席に戻らず速やかに本部でスコアシートを受領し、主審を行ってください。

(2) コーチングシートでの服装について

本大会については、熱中症対策として次のとおりとします。

・上衣は、現行のルールの通りとします。

・下衣については、七分丈およびハーフパンツの着用を認めます。

(3) その他

・事前に熱中症警戒アラートが発令された場合は、会場内で公表するとともに、原則として競技を中断し、レフェリーが継続に係る判断を行います。

・会場内の窓やドアを競技に支障がないようあけて競技を行います。

・選手および観客の皆さんは適宜水分補給を行うなど、熱中症予防対策に努めてください。

・熱中症の疑いがある症状が発生し救急要請を行った場合は、大会事務局（当番校）に報告をお願いします。

ご理解ご協力をお願いします。